

ProMED-mail情報 2017年 2月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH (厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>) に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
28日	ライム病 米国	アーカンソー州保健局が最近発生したダニ媒介性感染症の2例を、ライム病の定義を満たしていると判断。CDCによればアーカンソー州でのライム病の発生率は低いが、見逃さないよう注意が必要。2005年から2014年までの発生は10万人あたり1人以下。予防には草むらを避け、DEETを20～30%含む防虫剤を使用。
27日	鳥インフルエンザ(H7N9) 中国	国家衛生・計画出産委員会によれば、2月16～24日の間に河南省で新たに鳥インフルエンザ(H7N9)の患者3例が発生。2月13～23日には4人の死亡例を含む28例。うち家禽や市場での接触があったものは17例。
26日	髄膜炎菌性髄膜炎 マルタ共和国	世界的に、B型髄膜炎菌ワクチンの需要が供給を上回っている。2017年1月ワクチンが入手できず1歳児が死亡。マルタ小児協会は10人の小児患者を報告。症状は発熱、激しい頭痛、項部硬直、嘔吐、羞明、倦怠感などで、患者がこれらの症状すべてを示すわけではないが、食欲不振やひどい無気力などが見られる。
25日	ラッサ熱 ナイジェリア	24日バウチ州保健当局によれば、新たに発生したラッサ熱により4人が死亡。死亡した4人はBauchi行政区の2人 Alkaleri行政区の1人、Ganjuwa行政区の1人。Ganjuwa行政区の1人が今も治療中。1月以降で5人の感染が確認。
24日	ハンタウイルス感染症 米国	テキサス州ホックリー郡にハンタウイルス感染の疑い。安売り店Family Dollarの従業員1人がウイルス検査で陽性。店舗の屋根裏が汚染されている疑いがあるため、店側は8日に自主的に店を閉め、11日の再開を目指し直ちに市の保健調査担当者に通報。その後3人の従業員らがインフルエンザ様症状を発症し、初期検査では陰性との結果が出ているが、州保健当局が確認中。
21日	仮性狂犬病 スペイン	2015年12月1日死亡したスペインオオヤマネコの死因がPseudo-Rabies Virus(ブタヘルペスウイルス1型)の感染であったことが後に判明。別名オーエスキー病。野生では1994年のフロリダパンサーに続く2例目。
19日	ノロウイルス感染症 カナダ	カナダ公衆衛生局は、プリティッシュコロンビア州のカキが関係するノロウイルスの流行について調査を開始した。2月14日の時点で、アルバータ、オンタリオ、プリティッシュコロンビアの各州から221例の患者が報告。
16日	ロスリバー熱 オーストラリア	2017年1月マランビジー地区保険局は、ロスリバーウイルス感染数が12月の116例から150例に増加したと報告。ヒトにとって致死的ではないが、関節痛や痛み、発熱、悪寒、頭痛、時には発疹などの持続的で衰弱した症状を引き起こす可能性。
15日	麻疹 スペイン	カタルーニャ保健当局は、2017年1月初めに中国で感染した患者から感染した12人の麻疹患者の発生を報告。麻疹は2000年以来この地域から撲滅されたが、散発的な流行は依然として発生。ルーマニアでは最近2300件以上が発症し、14人が死亡。
7日	口蹄疫(ウシ) 韓国	2017年2例目となる口蹄疫が、全羅北道の牧場で確認。1例目発生の翌日。農業当局は7日に同道の農場で約50頭のウシのウイルス感染を確認。珍しいものではないが、韓国では未だ確認されていなかった新たな変異が発見。遺伝子型はタイとベトナムで発生したウイルスと99.4%一致していたが、伝播経路については調査中。6日には、忠清北道の牧場で11か月ぶりとなる感染発生が確認されていた。
5日	流行性耳下腺炎 米国	アーカンソー州での流行は広がりを見せ、新たに2つの学区で感染が報告。3日にそれぞれから1例ずつ患者が報告。今のところ流行は州の北西部に限定。これまで17学区49校 3つの大学または専門学校と3つの私立校で発生。アーカンソー州では2000例以上の患者が発生しており、全米で最多。患者の大部分が学童。
3日	クリミア・コンゴ出血熱 (CCHF) アフリカ	2017年1月6日の1例目に続き、南アフリカで2例目のCCHF患者が確認。2人に関連性はなし。北ケープ州の58歳ヒツジ農家で、2016年12月第3週にダニの刺咬。1月3日に頭痛と筋肉痛がありドキシサイクリンを処方されたが症状が悪化し、7日にキンバリーの病院に入院。隔離して凍結血漿と血小板の輸血を行ったが、消化管出血のため8日死亡。RT-PCR検査でCCHF陽性だが抗ウイルス抗体は確認されず。二次感染者なし。1981年以降、南アフリカでは202例のCCHF感染が検査で確認。2/3以上の患者にダニ暴露あるが、感染動物や血液との接触はまれ。
1日	アルテミシニン耐性 熱帯熱マラリア アフリカ	アンゴラ、ウガンダ(2人)、リベリアで熱帯熱マラリアに感染し、英国に帰国後アルテミシニン治療を受けた4人の患者を報告。初期に原虫血症は消失したが、最長1ヶ月後まで再燃。再感染は除外。原虫の遺伝子解析でそれぞれに異なる変異を確認。2012年にも東アフリカから熱帯熱マラリアのアルテミシニン耐性例が報告。